

【部会・分科会活動報告】 2015年1,2月度

食品安全研究会	食品微生物研究部会	<p>1. 部会全体会議 2/3 13:00～17:00 於 ㈱ニチレイ東銀座ビル 17F 会議室</p> <p>(1) 各分科会の活動報告 MALDI-TOF/MS 分科会 芽胞菌分科会</p> <p>(2) ICMSF2015 年次会合支援について</p> <p>2. MALDI-TOF/MS 分科会</p> <p>(1) 1/20 6月開催講演会会場（中央区立日本橋公会堂）下見</p> <p>(2) 2/24 於 ILSI 会議室 第9回DB登録用菌株シークエンス同定法に関する勉強会および（公）日本缶詰びん詰レトルト食品協会の駒木先生との成果物公開に関する打ち合わせ。</p> <p>3. 芽胞菌分科会</p> <p>(1) 2/20 ILSI 会議室 定期打ち合わせ</p> <p>(2) Alicyclobacillus 危害性のまとめにかんして分担決定</p> <p>(3) 高温性芽胞細菌原料検査法の各社試験の状況確認</p> <p>1) 乳や砂糖などの原料の検査法としては問題なし</p> <p>2) 一部の原料にて判定の難しいものがある、判定手法とサンプリング量について再検討。高甘味度甘味料やインスタントコーヒー</p> <p>3) 高ポリフェノールのエキス、原料類の検査には使用できない。性質上リスクは少ないと考えられたため、詳細な検査方法の検討は行わない。</p> <p>(4) 砂糖のリスクに関しては詳細の調査を行う。現状対応可能な砂糖・甜菜糖メーカーに関して情報調査を行い、サンプルが得られるようであれば各社分担で検査を実施し現状把握をする。</p>
	食品リスク研究部会	<p>1. 部会全体会議 1/31 16:00～17:00 於 ILSI 事務局</p> <p>(1) 各 WG 活動報告</p> <p>(2) 今後の活動について</p> <p>2. 毒性学教育講座 製本完了</p> <p>3. 食品の安全性試験 WG & プロバイオティクス WG 1/31 これまでの活動の振り返り、今後の活動について議論</p> <p>4. TTC、MOE 情報収集 WG 1/31 情報共有、勉強会開催について議論</p> <p>5. アレルギーWG 1/31 キックオフ。WG の目標等を議論</p> <p>次回部会は7月を予定</p>
	食品アレルギー研究部会	<p>2014年12月で終了。</p> <p>2015年1月より、食品リスク研究部会に「アレルギーワーキンググループ」として編入された。</p>
	香料研究部会	
	食品安全調査研究部会	

バイオテクノロジー研究会	植物研究部会	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
	環境リスク評価分科会	ERA プロジェクト調査報告第 20 号 (FEB 2015 号) 発刊。
	アレルギー性タンパク質の分析方法分科会	10 月の勉強会の内容のイルシー誌掲載準備
	組換え体検知法分科会	部会の中で ISO の現状勉強会 夏の国際会合とその後の日本での報告会への対応開始
	バイオテクノロジー研究会全体	部会開催 (2/3) ERA 調査報告勉強会 12 月のワークショップのイルシー誌掲載準備
栄養健康研究会	栄養研究部会	2015 年度第 1 回栄養研究部会 (1 月 20 日、ILSI 会議室、出席者 7 名)。議題：2014 年度部会活動報告と 2015 年度活動計画、栄養とエイジング国際会議開催準備の進捗と予定、WG 勉強会の実施予定とテーマの予習。
	GR プロジェクト	GR 法プロトコール改善のための検討を行った。
	茶類研究部会・茶情報分科会	特になし
食品機能性研究会	食品機能性研究部会	特になし
	脳機能分科会	特になし
	免疫能分科会	特になし
	ロコモ分科会	特になし
	寄付講座 「機能性食品ゲノミクス」	第 III 期寄付講座 (2013 年 12 月開始、5 年間) 研究進行中。
CHP	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	◇ テイクテン (TAKE10!®) 1/6-8 「テイクテン介護予防リーダー養成講座」(講師：木村美佳、岩国市・山口県) 1/19 世田谷区主催介護予防教室 (講師：木村美佳、世田谷区上祖師谷グループホームかたらい) 1/26-27 震災被災地支援：いしのまきテイクテン (講師：木村美佳、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、長尾生活センター、北上町大須生活改善センター) 1/8, 13, 14, 15, 16, 20 「すみだテイクテン 第 10 期フォローアップ教室」(墨田区 6 会場) 2/2-4 益田市シルバー人材センター主催「介護予防リーダー養成講習」(講師：木村美佳、島根県益田市) 2/6 「山倉・大角みんなの家」のイベントの一つとして TAKE10! 講習会 (講師：木村美佳、千葉県香取市山倉地区集落センター) 2/16 墨田区特定高齢者事業「口腔機能向上プログラム」講義「食べて生き生き術」(講師：木村美佳、墨田区役所) 2/17-19 益田市シルバー人材センター主催「介護予防リーダー養成講習」(講師：木村美佳、島根県益田市) 2/23-24 震災被災地支援：いしのまきテイクテン (講師：木村美佳、石巻市仮設南境第 2 団地集会所、北上地区仮設にっこりサン

	<p>パーク団地集会所、本地生活センター、北上町大須生活改善センター)</p> <p>2/27 「山倉・大角みんなの家」のイベントの一つとして TAKE10! 講習会 (講師：木村美佳、千葉県香取市山倉地区集落センター)</p> <p>2/10, 17, 18, 19, 20, 26 「すみだテイクテン 第10期フォローアップ教室」 (墨田区6会場)</p>
Project SWAN (Safe Water and Nutrition)	2/5 AIN による進捗確認会議 (ベトナム国立栄養研究所)
Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)	<p>1-2月</p> <p>ベトナム：鉄と亜鉛の強化米をマーケットで実証試験を実施するために、ベトナム国立栄養研究所が中心となり試験用プロトコールを開発中。2015年第2四半期に実証試験を開始予定。</p> <p>フィリピン：ミンダナオ地区の精米工場に、鉄剤の擬似米 (プレミックス) を商業生産するエクストルーダーを設置完了。試運転中。</p>
CHP 全体	1/9 ニュースレター (英語版) 発行 (No.20)
国際協力委員会	<p>平成 26 年度農林水産省食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業報告会「食品産業のグローバル展開～アジア地域の食品規格等に関する調査とデータベース～」</p> <p>日時：平成 27 年 2 月 19 日 (木) 午後 1 時～5 時</p> <p>場所：都道府県会館 402 号室</p> <p>参加者：90 名</p> <p>プログラム：以下の通り</p> <ol style="list-style-type: none"> 食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業：農林水産省 食料産業局輸出促進グループ長 山田英也 アジア地域の食品規格等に関する調査とデータベース：ILSI Japan 特別顧問 浜野弘昭 ASEAN における食品添加物規格データベースと食品規格基準ハーモナイゼーションに係わる ILSI の協力活動：Mr. Keng Ngee Teoh, Senior Manager, Scientific Programs, ILSI Southeast Asia Region ASEAN 食品規格基準ハーモナイゼーションの進捗状況：Professor Dedi Fardiaz, Department of Food Science and Technology, Bogor Agricultural University 食品産業のグローバル展開：日経 BP 社 特命編集委員 宮田 満
情報委員会	<ol style="list-style-type: none"> 委員会開催 2 回 (1 月、2 月) ホームページ <ul style="list-style-type: none"> 日常業務としての更新 (随時) 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> 23 巻 2 号 (通巻 87 号) : 編集 (2/28 発刊) 23 巻 3 号 (通巻 88 号) : 翻訳・監修 (5/10 発刊予定)
編集部会	<ul style="list-style-type: none"> 「イルシー」誌 120 号、発行 「イルシー」誌 121 号、原稿査読・編集

【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会

--	--	--

【事務局からのお知らせ】

理事会	<p>平成 27 年度第 1 回理事会が平成 27 年 2 月 4 日（水）に開催されました</p> <p>審議事項</p> <p>第 1 号議案 平成 26 年度事業活動報告書が承認されました</p> <p>第 2 号議案 平成 26 年度決算報告書が承認されました</p> <p>第 3 号議案 平成 27 年度事業活動計画書が承認されました</p> <p>第 4 号議案 平成 27 年度収支予算書が承認されました</p> <p>報告事項</p> <p>1 ILSI Japan 総会は 2 月 19 日(木)午前 10 時より都道府県会館にて開催し午後には、平成 26 年度農林水産省食品産業グローバル展開整備委託事業「アジア地域の食品規格等に関する調査とデータベース」についての報告会を行うとの報告があった。</p> <p>2 本部総会が 1 月 16 日から 21 日まで米国アリゾナ州フェニックス近郊にて研究財団、1 国際支部、15 地域支部から 330 名が参加して開催された等の報告があった。</p> <p>3 ILSI 本部役員会に於いて ILSI JAPAN CHP の活動報告及び今後の活動のあり方について説明。本部からは、資金確保・本部活動としての進め方について研究するスタディーグループ（ファンブラーデレン ILSI 副会長をリーダーとする）を設置し結論を出すとの報告があった。</p>
総会	<p>平成 27 年度通常総会が平成 27 年 2 月 19 日(木)10:00 より都道府県会館 402 号室で開催されました。</p> <p>審議事項</p> <p>第 1 号議案 平成 26 年度事業活動報告書が承認されました</p> <p>第 2 号議案 平成 26 年度決算報告書が承認されました</p> <p>第 3 号議案 平成 27 年度事業活動計画書が承認されました</p> <p>第 4 号議案 平成 27 年度収支予算書が承認されました</p> <p>報告事項</p> <p>○ILSI 本部総会が 1 月 16 日より 21 日まで、米国アリゾナ州フェニックス近郊で開催され総会の報告次のようにされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コカ・コーラ社のサポートにより、Malaspina International Scholar Travel Award が創設され、各地域から 10 名の若い研究者が参加し、日本から中西由季子教授(人間総合科学大学)が受賞した。 ・ILSI Middle East(中東)支部設立に向けた study Group を承認。3 年連続の新設となる。 ・「One ILSI Approach：産官学研究者協働の下、健康な生活を目指し科学に基づいた解決策の適合性、影響力の強化を図る」推進。4 つの科学的主題領域(食品安全、リスクサイエンス、栄養・健康、持続的農業と栄養安全保障)の活動報告がされた。 <p>○日本の食品の安全性を考えると食品の安全性・環境・フードシステム全体を扱う「新しい研究部会活動」を立ち上げたいとの提案が行われた。</p>
事務局	